

平成29年度

事業報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター

概 要

平成29年7月には、本センターの伊豆ペロドロームにおいて「東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催3年前イベント／同フラッグ歓迎セレモニー」が盛大に開催され、いよいよ国や地元自治体による機運醸成事業も本格的に始動した。

特に、静岡県においては、自転車と観光振興を繋ぐ「自転車の聖地・静岡」をスローガンに掲げ、大会終了後も見据えたオリンピックレガシーの活用を図るため、官民一体となった体制整備に取り組んでいる。

一方、本センターで行われる自転車競技（トラック競技、MTB競技）については、関係者間の協議により会場整備に係る役割分担の大筋が決定し、平成30年度から現場工事に着手する見込みとなったものの、本センターと組織委員会との間においては、会場使用に関する協定の締結や営業補償に係る具体的な打合せも進展しておらず、また、大会期間前後における営業計画も明確に公表できないなど問題も山積している。

次に、サイクルスポーツセンターの運営に目を向けると、有料入場者16万人の達成を目標に掲げ、各シーズンにおける誘客イベントの開催、夏季夜間営業の実施、インターネットを活用したPR展開、ペット連れ客の取込みを始め、積極的な誘客促進に努めたものの、旧盆期間後半の連続降雨、10月の記録的な降雨と相次ぐ台風の襲来、1月及び2月の寒波と大雪等の影響に加え、施設のリニューアル効果も薄れてきたこと等により目標数字には遠く及ばない結果となった。

本年度に実施した主要な施策は次のとおりである。

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技（トラック競技、MTB競技）開催に向けた関係機関との連携 ～会場整備、機運醸成ほか～
- 上記オリンピック・パラリンピック受入に関わる関係機関との協議及び交渉並びに内部的課題の検討 ～会場使用協定、営業補償、営業休止期間中の運営計画ほか～
- 誘客策の強化（夏季シーズンの夜間営業及び集客イベントの強化等）
- 既存事業の見直しと効率化

なお、事業の実施に際し、自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業及び施設の補修事業については、それぞれ公益財団法人JKAから公益事業振興資金の補助を受けた。

1. サイクルスポート施設の運営等に関する事業

(1) 各種施設の提供

5キロサーキット、MTBコース及び伊豆ベロドローム等の自転車競技施設、屋内スポーツ施設の室内フットサル場、体育館並びに野外活動施設のDAYキャンプ場、自転車競技大会の参加者及び合宿者の宿泊場所でもある宿泊施設サitel等の諸施設を広く一般に提供し、サイクルスポーツを中心とする生涯スポーツの普及に努めた。

その中でも特に、伊豆ベロドロームについては、土日祝日に競技愛好者への一般開放を行ったほか、平日にはナショナルチームの強化トレーニングの場として、また、国内外のトラック競技大会を年間22回開催するなど有効活用を図った。

また、5キロサーキットについては、老朽化の著しい部分の走路舗装改修を行い利用環境の整備に努めた。

なお、BMXコースについては、MTBオリンピックコースの造成整備に伴い平成29年7月末をもって一般営業を中止した。

(2) その他の事業

オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るため、管理棟の3階に「オリ・パラ競技用自転車紹介コーナー」、伊豆ベロドロームのメインエントランスに「オリ・パラ自転車競技種目紹介コーナー」を開設した。

このほか、自転車競技施設及びトレーニング施設の貸与、各種自転車及び関連機材の貸出し、各種自転車の展示等の事業を行った。

(3) 入場者

本年度上期における東海地方の気候は、気温も平年を上回り、比較的温暖であった。しかし、下期の降水量は平年を上回る月も多く、11月から2月にかけての気温も平年値を下回った。特に10月は台風21号の上陸や雨天の日が非常に多く、東海地方での降水量は平年差比342%、日照時間も平年差比65%であった。

一方、本センターの入場者（総入場者）について考察すると、第1四半期は、GWの日並びや「ツアー・オブ・ジャパン／サイクルフェスティバル」開催時期変更の関係により各月で前年度実績との増減が出ているが、期間トータルではGW後半の5連休が好影響を及ぼし、合計で48,857人（前年度48,079人）、対前年で+778人、101.6%となった。続く第2四半期は、4年振りに開催された「全日本BMX選手権大会」や空梅雨の影響で7月期の入場者が1,000人以上前年を上回り、8月期も前半は好調に推移したものの、旧盆期間の後半から雨が続き、前月の貯金を上回る減少となったため、合計で55,851人（前年度55,959人）、対前年で△108人、99.8%という結果に終わった。

第3四半期は、営業日数の半数以上が雨に見舞われるなど記録的な大雨と相次ぐ台風上陸の影響を受けた10月期、気温低下による一般客の出控えや合宿利用者の低迷が顕著であった12月期の影響は如何ともし難く、合計で25,041人（前年度29,720

人)、対前年で△4,679人、84.3%となった。そして、第4四半期も引き続き寒波の影響を受けることとなり、1月期には大雪のため約1週間に亘って満足な営業ができず、また、2月期も積雪のため第1週の土曜日・日曜日が部分的な営業を余儀なくされるなど雪に係るマイナスは大きく、3月期の春季イベントで挽回を図ったものの、合計で35,984人(前年度37,245人)、対前年で△1,261人、96.6%という結果に終わった。

以上の結果、平成29年度の総入場者は165,733人(前年度171,003人)、前年度と対比すると、△5,270人、96.9%となった。

一方、場内施設利用者は、おもしろ自転車を始め、サイクルコースターや、サイクルゴーランド等の利用者は前年度に引き続き増加したものの、5キロサーキット、マウンテンバイクコース、ファミリーサーキット等で前年度実績を下回り、延べ利用者数は前年より2,007人減の780,625人、99.7%であった。

なお、本事業年度の詳細は(別表1-1)月別入場者、(別表1-2)入場者内訳及び(別表1-3)施設利用者内訳のとおりである。

2. 自転車競技並びにサイクリスポートの普及奨励

(1) アジアサイクリングセンター(CCC修善寺)の運営

ア. 国内トレーニングキャンプ

国際自転車競技連合(UCI)におけるワールドサイクリングセンター(WCC)構想のもと、日本を含むアジア各国の自転車競技連盟から推薦を受けた将来有望なトラック競技者や指導者をCCC修善寺に集め、基礎的な訓練研修を行うとともに、同年代の各国アスリートと競わせることによりメンタル面の向上を図るなど、今後世界で活躍するための貴重な機会を創設した。

本年度における開催は、次のとおりである。

[第1回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：平成29年6月18日～平成29年7月1日

参加者：4ヵ国 — 16名(選手16名)

香港チャイナ	2名(選手2名)
タイ王国	2名(選手2名)
ベトナム	3名(選手3名)
日本	9名(選手9名)

[第2回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：平成29年11月4日～平成29年11月17日

参加者：5ヵ国 — 25名(選手19名、コーチ6名)

中華人民共和国(上海)	12名(選手6名、コーチ6名)
香港チャイナ	3名(選手3名)
パキスタン	1名(選手1名)
タイ王国	2名(選手2名)
日本	7名(選手7名)

イ. 海外トレーニングキャンプ

アジア自転車競技連合（ACC）の協力のもと、資金面で来日が困難なアジア各国への便宜を図るため、CCC修善寺のコーチングスタッフを地理的にも治安的にも環境に優れたタイ王国へ派遣し、自転車競技者及び指導者を対象にしたトレーニングキャンプを実施し、競技普及のアプローチを行った。

本年度における開催は、次のとおりである。

開催期間：平成29年9月26日～平成29年10月5日

開催場所：タイ王国・バンコク フアマーク自転車競技場

参加者：2カ国 — 16名（選手12名、コーチ4名）

香港チャイナ 2名（選手2名）

タイ王国 14名（選手10名、コーチ4名）

ウ. PR・招致活動

海外トレーニングキャンプ後に同地で開催された「ACCトラックアジアカップ 2017タイラウンド」において、CCC修善寺のPRを行い、国内キャンプへの招致に努めた。

また、アジア自転車競技連合総会にもオブザーバーとして出席し、各国に対し国内外のトレーニングキャンプへの招致活動を実施した。

「ACCトラックアジアカップ 2017タイラウンド」

開催期間：平成29年10月6日～平成29年10月8日

開催場所：タイ王国・バンコク フアマーク自転車競技場

派遣スタッフ：3名

「2018アジア自転車競技連合総会」

開催日：平成30年2月19日

開催場所：マレーシア・クアラルンプール（ルネッサンスホテル）

派遣スタッフ：1名

エ. ガールズキャンプへの協力

公益財団法人JKA及び公益財団法人日本自転車競技連盟が主催する「ガールズサマーキャンプ2017」、公益財団法人JKAが主催する「ガールズサテライトキャンプ2018」に指導協力を行った。

協力内容は、次のとおりである。

[ガールズサマーキャンプ2017]

開催期間：(第1ターム) 平成29年8月12日～平成29年8月15日

(第2ターム) 平成29年8月15日～平成29年8月18日

開催場所：本センター400メートルピスト、日本競輪学校体育館

参加者：(第1ターム) 21名 (トラック競技未経験者)

(第2ターム) 17名 (トラック競技経験1年未満)

指導スタッフ：4名

[ガールズサテライトキャンプ2018]

開催期間：平成30年3月16日～平成30年3月18日

開催場所：佐賀県武雄温泉競輪場

参加者：18名 (トラック競技経験未経験者・トラック競技初心者等)

指導スタッフ：2名

(2) 自転車競技大会及び合宿の開催と受入れ

ア. 自転車競技大会

5キロサーキット、伊豆ベロドローム、MTBコース、BMXコースを始めとする本センター所有施設を活用し、5時間耐久チームサイクルロードレース大会やトラック自転車競技大会等の各種自転車競技大会を企画・開催した。また、他団体が主催する様々な自転車競技大会を招致し、その開催にも協力した。

[主催大会]

開催件数：12件 (前年度15件)

参加者：1,441名 (前年度1,967名)

[他団体の大会]

開催件数：38件 (前年度37件)

参加者：7,279名 (前年度5,239名)

なお、詳細は(別表2)自転車競技大会一覧のとおりである。

イ. 自転車競技合宿

ナショナルチームを始め、大学や高等学校の自転車競技部、各種自転車競技団体等、延べ315件2,521名(前年度238件4,057名)の自転車競技者を誘致し、伊豆ベロドロームなどの自転車競技施設を提供した。

なお、本年度は個人及び少人数での利用が多く件数は増加したが、前年度開催されたインカレ事前合宿のような大学単位での利用が減ったため、前年と比べ年間で77件の増であったものの1,536名の減員となった。

(3) 伊豆サイクルスポーツクラブの運営

本センターの施設・設備とスタッフを活用して、伊豆サイクルスポーツクラブの運営を行った。

同クラブは、性別、年齢、目的及び自転車競技経験の有無を問わず、トップ競技者を目指す者のほか、キッズクラスからマスターズ世代に至るまで幅広い層を対象に、原

則として、トラック競技は月4回、ロード競技を月2回実施した。なお、トラック競技については、月4回のうちの1回を水曜日の夜間に実施し、会員のニーズに応えた利用環境を整えることができた。

また、当クラブからは、開設当初小学生だった会員が、現在はナショナルチームの代表選手に選出され、平成29年12月にチリで開催された2017-2018トラックワールドカップ第4戦で銅メダル、平成30年2月にマレーシアで開催された第38回アジア自転車競技選手権大会で金メダルを獲得するなど、その成果が顕在化してきている。

[会 員 数]

平成28年度末：128名（トラック・ロード96名、BMX32名）

平成29年度末：82名（トラック・ロード82名）

(4) 自転車スクールの開催

自転車愛好者の底辺拡大を図るため、自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の乗り方教室を4回、小学生を対象にした日帰りの乗り方教室を3回開催した。

なお、詳細は（別表3）自転車スクール及び競技指導内容一覧のとおりである。

(5) 自転車競技者に対する指導業務

地元静岡県自転車競技連盟からの要請を受け、ジュニア世代の育成、国体に出場する静岡県代表選手及び女性アスリートの強化に特化したトレーニングプログラムによる指導を行った。

なお、詳細は（別表3）自転車スクール及び競技指導内容一覧のとおりである。

(6) 各種イベントの開催

ア. 自転車普及イベント

平成30年3月には、前年度に引き続き「2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技」の機運醸成と競技振興を目的に、競技会場となる伊豆ベロドロームにおいて夜間イベントを開催し、トップアスリートによる模範走行の観覧や木製バンクを体験走行する機会を提供し、多方面からサイクルスポーツの普及に努めた。

その他の主な開催イベントは以下のとおりである。

- ・第14回CSC3時間耐久一輪車レース大会
- ・第28回新春静岡県一輪車競技大会
- ・第6回静岡オープン駅伝大会

なお、詳細は（別表4）イベント開催内容一覧のとおりである。

イ. スポーツイベント

自然環境に恵まれた本センターの各種訓練施設等を会場にして、スポーツイベントを開催し、スポーツへの参加機会を提供するとともに、サイクルスポーツの知名度向上に努めた。

- ・第20回サイクル春の山菜採り健康ウォーキング
- ・体育の日「健康イベント」
- ・第13回伊豆サンタマラソン
- ・フットサル 1Dayナイトリーグ（全3戦）
- ・フットサル 山のカップ ビギナーズ The 12th

なお、詳細は（別表4）イベント開催内容一覧のとおりである。

（7）自転車競技の地域普及啓発活動

本センターに在籍する自転車競技の公認コーチ・インストラクターを活用し、トラック、ロード、MTBの各競技体験プログラムを地元住民へ提供することにより、自転車競技と触れ合う機会を設け、伊豆地域における自転車競技の普及啓発に努めた。

また、トップアスリートの育成を目的に三島市が主催する「みしまジュニアスポーツアカデミー事業」において、自転車競技の指導業務を受託し、タレント発掘のための活動に協力を行った。

このほか、静岡県立伊豆総合高等学校の体育科目選択授業の場として伊豆ベロドロームや400メートルピストを提供し、トラック競技の技術指導に関する協力等も行った。なお、詳細は（別表5）自転車競技体験プログラム一覧のとおりである。

（8）ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点の活用

NTC自転車競技強化拠点施設として、スポーツ庁との委託契約に基づき、オリンピック及びパラリンピック競技のナショナルチームの強化やジュニア競技者の計画的な育成を行うための施設の優先・専有利用及びトレーニング施設の競技条件の向上、科学的なトレーニングを行うための医科学サポート並びに情報ネットワークの構築等、競技力向上のための施設活用事業を行った。

その結果、本年度末に開催されたワールドカップ並びに世界選手権においては、複数のメダル獲得者が誕生するなど、トレーニングの成果が顕在化してきている。

3. サイクルスポーツに必要な自転車等に関する研究

サイクリングコースにレンタサイクルとして配備した各種市販自転車の利用後の評価に関してアンケート調査を行うとともに、日常の自転車利用の機会や目的等についてもデータを収集した。

4. サイクルスポーツ施設に付帯する施設等の運営に関する事業

（1）各種施設の提供

“安全性の確保”と“満足度の向上”を念頭に置き、ファミリーサーキット、おもしろ自転車及びサイクルモノレール等の自転車関連施設並びにサイクルコースター、スカイローラーを始めとする遊戯的施設等を一般へ提供した。

また、ファミリーサーキットについては、計画的な走路改修に着手し、利用環境の整備に努めた。

その他、お客様や近隣観光協会、ホテル・旅館等からの要望に応じ、本年度から本格

的にドッグランの開放と愛犬連れ入場の導入を行い、年間約 900 名の入場実績があったことから、更なる増員を図るため、ドッグランエリア一面にウッドチップを敷き詰めるなど、利用環境を整えサービス向上にも努めた。

(2) その他の事業

GW・夏季・秋季・正月・春季の各シーズンに人気の高いお笑いライブやキャラクターショーなど、集客イベントを開催するとともに、8 月には旧盆期間を中心に夏の夜間営業「サイクルナイト」を実施するなどして誘客に努めた。また、5 キロサーキットコース等の自転車関連施設を活用して、テレビ番組の収録や各自動車メーカーによる撮影並びに PR イベントを受入れ、収益の増大を目的とした施設の貸与事業を積極的に行った。

[撮 影]

件 数：22 件（前年度 32 件）

収 入： 8,919 千円（前年度 9,327 千円）

[イベント]

件 数：20 件（前年度 33 件）

収 入：22,768 千円（前年度 18,481 千円）

5. 飲食等付随するサービス事業

飲食部門については、季節に合わせたディスプレイやメニューの追加並びに混雑緩和のため迅速な商品提供に努めるなどサービスの向上と効率化の改善を図った。

また、繁忙期においては地元漁協による実演販売、大会・イベント開催時には積極的に臨時売店を出店し、売上増進に努めた。

一方で、繁閑に合わせた合理的な店舗営業日の設定や販売価格や食材等仕入れの見直しを行い、効率的な経営を目指した。

物販部門では東京オリンピック・パラリンピックの公式記念グッズや自転車トラック競技会場に指名された伊豆ベロドロームを素材とした「ベロドローム T シャツ」と「ベロドロームマフラータオル」等のオリジナルグッズを販売し、売上増進を図った。

6. 広報及び誘致活動

パソコンや携帯電話の普及が著しい現況に鑑み、様々な情報を簡単に不特定多数の者へ到達させることが可能で、最も高い費用対効果が期待できる“インターネット”をフルに活用することとし、本センターのホームページについては、アクセスする方々に、より分かりやすく情報伝達が可能となるよう、閲覧者からの情報収集により随時見直しを行った。また、他のホームページとのリンクを積極的に行うとともに、営業メニュー・自転車競技大会・イベント・各種スクール・季節毎の見所・各施設の営業状況等の情報をタイムリーに発信した。

一方、有料のインターネット広告については、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」と「LINE@」（お友達登録数約 8,000 名）を効果的に活用した。その中で「いこーよ」内

の検索数においては、本年度静岡県観光部門及び東海総合レジャー部門で年間人気ランキング2位を獲得するなど、本センターの注目が高まっている。

パブリシティに関しては、各メディアに対し積極的に情報をリリースし、オリンピック関連では、確認されただけでもテレビ3局6回、新聞3紙6回取り上げられた。また、本センターの施設やイベントについても、様々な媒体で紹介いただいた。

このほか、首都圏に対しては、経験豊富な専属の担当者を配し、旅行代理店並びに公官庁・大手企業・学校等への販売促進活動を展開する一方、地元に対しては、伊豆半島一円の宿泊施設や幼稚園及び保育園へ定期的に案内資料を提供し、誘客促進を図った結果、8,048名の来場者とサイテル宿泊者6,235名を獲得した。

なお、詳細は(別表6)広報宣伝活動内容一覧、(別表7)販売促進活動内容一覧のとおりである。

7. 2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技(トラック競技、MTB競技)開催に向けた関係機関との連携～会場整備、機運醸成ほか～

組織委員会は、2020年に開催される東京オリンピックの自転車競技(トラック及びMTB競技:平成27年12月指定)、そして、東京パラリンピックの自転車競技(トラック競技:平成28年4月指定)の競技会場整備に関わる基本設計を終了し、実施設計に取り掛かっている。この間、本センターは、組織委員会を始め、静岡県、伊豆市等関係諸機関と連携を図り、これらの業務が円滑に進むよう所要の業務に取り組んできた。

また、本年度7月には機運醸成として、組織委員会が主催する「フラッグツアール」とフラッグツアール歓迎イベントとして地元行政が企画した3年前イベント「ふじのくにサイクルチャレンジ in 伊豆」の開催に協力し、自転車競技への注目度の向上に努めた。

8. 2020年東京オリンピック・パラリンピック受入に関わる関係機関との協議及び交渉並びに内部的課題の検討～会場使用協定、営業補償、営業休止期間中の運営計画ほか～

東京オリンピック・パラリンピック競技会場に関わる整備方法と役割分担については、平成30年3月に行われた五者協議(組織委員会、静岡県、公益財団法人JKA、経済産業省、CSC)で大筋が決定した。

一方で問題も山積しており、最重要事項である会場使用協定の締結と営業補償の基本合意については満足な協議もできないまま次年度に持ち越されてしまった。また、工事実施による場内施設への影響や休業を余儀なくされる期間、更には、休業期間中における施設の維持管理方法や従業員の取扱い、大会終了後の営業再開に向けての進め方などの課題解決も先送りとなった。

9. その他

(1) 各種合理化策の実施

各種契約に伴う業者選定については、見積比較等により都度経費の削減に努め、特に場内施設整備においては、本センター建設当時の使用機材が、国の定めるPCB特措法の制定により、その相当数が廃棄物処理の対象となっていることから、処分に当たっては、各種助成金及び補助金を活用することで、本年度は約120万円の処分費用を削減す

ることができたほか、職員による作業機器のメンテナンスや故障件数の低減に取り組んだ結果、修理費用を大幅に削減することができた。

(2) 地域行政との連携

ア. 伊豆市事業への協力

“伊豆をサイクルスポーツ・サイクルレジャーのメッカに！”を合言葉に、伊豆市と自転車関係団体とが「自転車と伊豆・推進協議会」（旧名称「サイクルメッカ伊豆推進協議会」）を組織し、本年度は、平成29年5月に第13回サイクルフェスティバル、10月に伊豆半島1周サイクリングを開催した。

また、伊豆市が主催する2020東京オリンピックのボランティアサポーター研修並びにこども園の園児等を対象にした「ストライダー出前教室」等、地元市民の機運醸成のための自転車普及イベントの開催への協力も行った。

イ. 静岡県事業への協力

地域資源の活用とスポーツをキーワードにした新たな事業の創出による地域経済の発展を目的に、地元企業と行政とが「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会」（通称：E-spo）を組織している。本センターは同協議会の設立発起人の一員として参画し、スポーツと宿泊・観光を組み合わせた新しいサービスや商品の開発等に関する検討に加わった。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技会場となる伊豆ベロドロームで開催された競技開催3年前イベント「ふじのくにサイクルチャレンジ in 伊豆」を始め、静岡県が主催する各種イベントに協力を行った。

(3) 各種資格取得の奨励・支援

本センターの事業運営に必要とされる各種資格については、担当部署を問わず、その取得を積極的に奨励し、本年度においては、日本サッカー協会・フットサル4級審判員2名、中級障がい者スポーツ指導員1名が資格を取得した。

なお、その詳細は（別表9）職員研修内容一覧のとおりである。

(4) その他

理事会・評議員会を始めとする諸会議の開催、規程の見直し、各種職員研修などの業務を必要に応じて行った。

職員の全体研修については、「普通救命講習会」の受講のほか、静岡県職員を講師に招き「オリンピックを契機にCSCが発展するためには」と題した講演を開催した。

この他、職員組合と退職金支給規程の改正に関する協議を行った。

なお、その詳細は（別表8）諸会議開催内容一覧、（別表9）職員研修内容一覧のとおりである。

(別表 1-1) 平成29年度 月別入場者

[単位：人]

区 分	平成28年度			平成29年度			増 減	
	人 数	割 合	営業日数	人 数	割 合	営業日数	人 数	前年比
4 月	15,935	9.3%	26日	13,527	8.2%	26日	△ 2,408	84.9%
5 月	23,436	13.7%	29日	27,780	16.8%	28日	4,344	118.5%
6 月	8,708	5.1%	21日	7,550	4.6%	21日	△ 1,158	86.7%
7 月	15,765	9.2%	28日	16,868	10.2%	29日	1,103	107.0%
8 月	32,774	19.2%	30日	31,509	19.0%	31日	△ 1,265	96.1%
9 月	7,420	4.4%	27日	7,474	4.5%	26日	54	100.7%
10 月	10,475	6.1%	27日	7,539	4.50%	27日	△ 2,936	72.0%
11 月	8,267	4.8%	27日	9,083	5.4%	26日	816	109.9%
12 月	10,978	6.4%	19日	8,419	5.1%	20日	△ 2,559	76.7%
1 月	11,151	6.5%	26日	9,702	5.8%	22日	△ 1,449	87.0%
2 月	6,401	3.8%	18日	6,242	3.8%	19日	△ 159	97.5%
3 月	19,693	11.5%	29日	20,040	12.1%	28日	347	101.8%
合 計	171,003	100.0%	307日	165,733	100.0%	303日	△ 5,270	96.9%

(別表1-2) 平成29年度 入場者内訳

[単位:人]

区 分				平成28年度		平成29年度		増 減		
				人 数	割 合	人 数	割 合	人 数	前年比	
有 料 入 場 者	入 場 券	個 人	おとな	19,053	13.0%	17,764	12.4%	△ 1,289	93.2%	
			こども	4,854	3.3%	4,467	3.1%	△ 387	92.0%	
		団 体	おとな	30,963	21.1%	30,041	21.0%	△ 922	97.0%	
			こども	8,209	5.6%	7,727	5.4%	△ 482	94.1%	
		計			63,079	43.0%	59,999	41.9%	△ 3,080	95.1%
	とく とく パ ス	個 人	おとな	5,688	3.9%	6,230	4.3%	542	109.5%	
			こども	4,837	3.3%	5,325	3.7%	488	110.1%	
		団 体	おとな	28,278	19.3%	27,666	19.3%	△ 612	97.8%	
			こども	23,503	16.0%	23,586	16.5%	83	100.4%	
		計			62,306	42.5%	62,807	43.8%	501	100.8%
	セ ッ ト 券	こども会	おとな	32	0.0%	6	0.0%	△ 26	18.8%	
			こども	0	0.0%	2	0.0%	2	—	
		ス ク ー ル	おとな	1,237	0.8%	1,199	0.8%	△ 38	96.9%	
			こども	288	0.2%	279	0.2%	△ 9	96.9%	
		特 別	おとな	3,712	2.5%	3,130	2.2%	△ 582	84.3%	
			こども	2,153	1.5%	1,916	1.3%	△ 237	89.0%	
		身 障 者		185	0.1%	114	0.1%	△ 71	61.6%	
		計			7,607	5.1%	6,646	4.6%	△ 961	87.4%
		大会・合宿等			9,132	6.2%	9,794	6.8%	662	107.2%
パターゴルフコース利用者			4,637	3.2%	4,120	2.9%	△ 517	88.9%		
一般有料入場者計			146,761	100.0%	143,366	100.0%	△ 3,395	97.7%		
その他有料入場者			15,065	9.3%	14,822	9.4%	△ 243	98.4%		
有料入場者合計			161,826	100.0%	158,188	100.0%	△ 3,638	97.8%		
無 料 入 場 者			9,177	5.4%	7,545	4.6%	△ 1,632	82.2%		
入 場 者 総 合 計			171,003	100.0%	165,733	100.0%	△ 5,270	96.9%		
営 業 日 数 (日)			307		303		△ 4	98.7%		
営業日における雨天日数(日)			62	20.2%	61	20.1%	△ 1	98.4%		

(別表 1-3) 平成29年度 施設利用者内訳

区 分	平成28年度		平成29年度		増 減	
	人 数	利用率	人 数	利用率	人 数	前年比
5キロサーキット	16,265	9.3%	15,336	8.4%	△ 929	94.3%
ファミリーサーキット	68,186	38.9%	67,363	36.7%	△ 823	98.8%
MTBコース	7,266	4.1%	7,049	3.8%	△ 217	97.0%
BMXコース	929	0.5%	539	0.3%	△ 390	58.0%
STRIDER	174	0.1%	184	0.1%	10	105.7%
伊豆ベロドローム	34	0.0%	94	0.1%	60	276.5%
サイクルコースター	99,993	57.0%	101,486	55.3%	1,493	101.5%
おもしろ自転車	105,440	60.1%	109,011	59.4%	3,571	103.4%
サイクルゴーランド	59,511	33.9%	62,172	33.9%	2,661	104.5%
サイクルUFO	57,202	32.6%	54,994	30.0%	△ 2,208	96.1%
サイクルモノレール	58,577	33.4%	58,287	31.8%	△ 290	99.5%
水上自転車	54,210	30.9%	54,638	29.8%	428	100.8%
体育館・流水プール	12,200	7.0%	11,085	6.0%	△ 1,115	90.9%
スカイローラー	98,001	55.9%	98,382	53.6%	381	100.4%
アスレチック迷路 キャスルアドベンチャー	67,026	38.2%	64,079	34.9%	△ 2,947	95.6%
室内フットサル場	6,889	3.9%	6,859	3.7%	△ 30	99.6%
パターゴルフコース	5,964	3.4%	5,403	2.9%	△ 561	90.6%
コイン施設	607	0.3%	252	0.1%	△ 355	41.5%
DAYキャンプ場 元気の森	2,745	1.6%	2,611	1.4%	△ 134	95.1%
ウォーターバルーン	3,621	2.1%	1,802	1.0%	△ 1,819	49.8%
ふわふわドーム	20,785	11.9%	21,099	11.5%	314	101.5%
こども広場 キッズアイランド	21	0.0%	—	—	—	—
ジャングルジム FUJISAN	36,986	21.1%	37,900	20.7%	914	102.5%
合 計	782,632	457.7%	780,625	471.0%	△ 2,007	99.7%

・こども広場 キッズアイランドは、平成28年4月9日より無料施設に変更。

・BMXコースは、平成29年7月31日をもって一般営業終了

・体育館・流水プールの有料営業期間：平成28年度は7月16日から8月31日まで。平成29年度は7月15日から8月31日まで。

(別表2) 自転車競技大会一覧

開催月	主な大会	主催団体	参加選手	
主 催	5月	CSCクリテリウムシリーズ 第1戦	日本サイクルスポーツセンター	91人
	6月	Challenge The Izu Velodrome 第1戦	日本サイクルスポーツセンター	82人
	6月	CSCクリテリウムシリーズ 第2戦	日本サイクルスポーツセンター	97人
	7月	第20回 CSC5時間耐久チームサイクルロードレース大会	日本サイクルスポーツセンター	339人
	7月	CSCトラック自転車競技大会2017夏(KID'S～マスターズ)	日本サイクルスポーツセンター	153人
	9月	Challenge The Izu Velodrome 第2戦	日本サイクルスポーツセンター	60人
	9月	CSCクリテリウムシリーズ 第3戦	日本サイクルスポーツセンター	128人
	10月	CSCクリテリウムシリーズ 第4戦	日本サイクルスポーツセンター	110人
	10月	CSCトラック自転車競技大会2017秋	日本サイクルスポーツセンター	136人
	12月	CSCクリテリウムシリーズ 第6戦	日本サイクルスポーツセンター	73人
	1月	CSCクリテリウムシリーズ 第7戦	日本サイクルスポーツセンター	73人
	3月	CSCクリテリウムシリーズ 最終戦	日本サイクルスポーツセンター	99人
協 力	4月	2017JCRCロードシリーズ第1戦 in 日本CSC	日本サイクルレーシングクラブ協会	155人
	4月	全日本学生トラックレースシリーズ第1戦	日本学生自転車競技連盟	192人
	4月	第42回チャレンジサイクルロードレース大会	日本自転車競技連盟	775人
	5月	全日本学生トラックレースシリーズ第2戦	日本学生自転車競技連盟	137人
	5月	全日本学生ロードレースシリーズ第2戦 第19回修善寺オープンロードレース大会	日本学生自転車競技連盟	245人
	5月	第20回ツアー・オブ・ジャパン 伊豆ステージ	自転車月間推進協議会	104人
	6月	平成29年度関東高等学校自転車競技大会	関東高等学校体育連盟	150人
	7月	第58回全日本学生選手権トラック自転車競技大会	日本学生自転車競技連盟	447人
	7月	第34回全日本BMX選手権大会	日本自転車競技連盟	468人
	7月	JAPAN TRACK CUP I・II	日本自転車競技連盟	235人
	8月	2017年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会	日本自転車競技連盟	493人
	9月	JCRCロードシリーズ第4戦 in 日本CSC	日本サイクルレーシングクラブ協会	161人
	11月	第49回中部8県対抗自転車競技選手権大会	日本自転車競技連盟ほか	74人
		第51回中部8県対抗自転車競技大会道路競走大会	日本自転車競技連盟ほか	62人
	11月	2016全日本選手権自転車競技大会－マスターズ	日本自転車競技連盟	314人
		2016全日本選手権自転車競技大会－オムニアム		
	12月	2017ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第1戦	静岡県自転車競技連盟	165人
	12月	全日本学生トラックレースシリーズ第3戦	日本学生自転車競技連盟	155人
	12月	第8回東京エンデューロ	東京都自転車競技連盟	119人
	1月	2017ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第2戦	静岡県自転車競技連盟	119人
1月	全日本学生トラックレースシリーズ第4戦	日本学生自転車競技連盟	153人	
2月	2017ワンデイ・トラックレース ウインターシリーズ第3戦	静岡県自転車競技連盟	98人	
2月	2018東京都ウインターロードレース大会第2戦	東京都自転車競技連盟	163人	
3月	CSC Classic 2018	CSC Classic実行委員会	124人	
3月	第1回JBCF修善寺ロードレース	全日本実業団自転車競技連盟	1,217人	

<主催大会>

12大会・1,441人参加(5キロサーキット、伊豆ベロドローム)
 ※ CSCクリテリウムシリーズの第5戦(11月)は、雨天のため中止。
 ※前年度実績15大会・1,967人参加

<協力大会>

38大会・7,279人参加(5キロサーキット、MTBコース、BMXコース、400メートルピスト、伊豆ベロドロームほか)
 ※前年度実績37大会・5,239人

(別表3) 自転車スクール及び競技指導内容一覧

区 名	内 容	参加人数
小学生のための 自転車教室	自転車に乗れない小学生を対象にした日帰りの教室 3回開催(第103回:6月～第105回:2月)	60人
女性のための 自転車教室	自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の教室 4回開催(第309回:6月～第312回:3月)	28人
自転車競技者に対する 指導業務	静岡県自転車競技連盟強化事業への協力 ・ジュニア育成・強化事業における指導 1回開催(12月) 選手14名、監督・コーチ3名 ・国体強化事業における指導 3回開催(12月・1月・2月) 選手24名、監督・コーチ9名 ・女子アスリートキャンプにおける指導 1回開催(12月) 選手10名	60人

(別表4) イベント開催内容一覧

	イベント名	開催日	主な内容		
自転車普及イベント	ゴールデンウィーク サイクルカーニバル	平成29年 4月29日(土) ～ 同 5月 7日(日)	あいぜっちゅースペシャルライブ キャラクターショー(2種類) スタンプラリー	1日 2日 9日	134人 3,756人 1,363人
	一輪車競技大会 ～共催～	平成29年 6月25日(日)	第14回CSC3時間耐久一輪車レース大会 (チーム対抗)	1日	258人
		平成30年 1月 3日(水)	第28回新春静岡県一輪車競技大会 (5kmマラソン)	1日	131人
		平成30年 3月11日(日)	第6回静岡オープン駅伝大会 (チーム対抗)	1日	220人
	夏のサイクルカーニバル	平成29年 7月15日(土) ～ 同 8月31日(木)	CSC自主イベント(3種類) お笑いライブ(11組)	48日 6日	14,505人 5,278人
	夏の夜間営業 「サイクルナイト」	平成29年 8月11日(金) ～ 同 8月16日(水) ※8月15・16日は、雨天中止 来園者数(4日間 171人)	施設利用(5施設営業)	4日	2,369人
			子ども縁日(6屋台)	4日	780人
			バランススクーター	4日	137人
			卓球ルーム	4日	37人
	秋のサイクルカーニバル	平成29年10月 7日(土) ～ 同10月 9日(月) 平成29年10月 1日(日) ～ 同11月 3日(金)	キャラクターショー(3種類)	3日	2,405人
			ハロウィンイベント		
新春サイクルカーニバル	平成30年 1月 1日(月) ～ 同 1月 3日(水)	新春開運餅まき大会、運ためし抽選会 健康増進イベント(200mタイムアタック、カロチャレ) 「あいぜっちゅー」ミニライブ&SPライブ	3日 2日 2日	1,450人 534人 84人	
春のサイクルカーニバル	平成30年 3月24日(土) ～ 同 3月31日(土)	お笑いライブ(5組) キャラクターショー(1種類) ※イベントは、平成30年4月1日(日)に終了予定	2日 1日	1,576人 1,688人	
伊豆ペロドローム 夜間スペシャルイベント	平成30年 3月24日(土) ～ 同 3月25日(日) 来園者数(2日間 53人)	おもしろ自転車 バランススクーター スピードにアタック ペロドローム体験走行 MTB試乗体験	2日 2日 2日 2日 2日	106人 51人 10人 74人 94人	
スポーツイベント	ウォーキング	平成29年 4月16日(日)	第20回サイクル春の山菜採り健康ウォーキング (5km、10kmコース)	1日	101人
	体育の日イベント	平成29年10月 9日(月)	体育の日「健康イベント」 固定ローラースピード測定、カロチャレ	1日	363人
	フットサル大会	平成29年 5月13日(土) ～ 同12月 9日(土)	1Dayナイトリーグ (会員及び一般参加によるリーグ戦)	3日	15チーム
		平成30年 2月 4日(日)	CSC山のカップ ビギナーズ The12th (会員及び一般参加によるリーグ戦&トーナメント戦)	1日	8チーム
	マラソン大会	平成29年12月23日(土)	第13回伊豆サンタマラソン	1日	207人
健康プログラム	平成29年 4月 4日(火) ～平成30年 3月27日(火)	パワートレーニング (各種マシンを使用する筋力アップトレーニング)	41日	152人	

(別表5) 自転車競技体験プログラム一覧

開催日	主な内容
平成29年 4月 2日(日)	<p>みしまジュニアスポーツアカデミーへの協力(全8回) 1日 18人</p> <p>第2期生 18人</p> <p>・伊豆ベロドロームでのトラック競技体験プログラム(8回目)</p> <p>※平成29年3月20日(月)から全8回実施</p>
平成29年 7月27日(木)	<p>伊豆市立熊坂小学校 PTA家庭学級 1日 13人</p> <p>(伊豆ベロドロームでのトラック競技魅力啓発プログラム)</p>
平成29年 9月 4日(月) ～平成29年12月13日(水)	<p>静岡県立伊豆総合高等学校体育科目選択授業 10日 200人</p> <p>第1グループ(3年生) 19人(実習回数5回)</p> <p>第2グループ(2年生) 21人(実習回数5回)</p> <p>(伊豆ベロドロームでのトラック競技実習)</p>
平成29年12月16日(日)	<p>大仁北小学校親児の会 1日 21人</p> <p>(伊豆ベロドロームでのトラック競技魅力啓発プログラム)</p>
平成30年 3月 7日(水) ～平成30年 3月31日(土)	<p>みしまジュニアスポーツアカデミーへの協力(全8回) 8日 144人</p> <p>第3期生 28人</p> <p>・競技講話「自転車競技の魅力について」 (1回)</p> <p>・伊豆ベロドロームでのトラック競技体験プログラム(6回)</p> <p>※8回目(競技体験プログラム)は、平成30年4月1日(日)に終了予定</p>

(別表6) 広報宣伝活動内容一覧

媒体名		内 容	
広 告	テレビ	静岡朝日テレビ 15秒スポット	69本
	ラジオ	FMISみらいずステーション	16回
	新聞	静岡新聞、毎日新聞、伊豆日日新聞	3紙 7回
	雑誌	読売ファミリーサークル、Pocket、全福ネットガイドブックほか	5誌 9回
	車内吊	新東海バス 4枚/車両・1期7日	35車両 52期
	看板	伊豆箱根鉄道・駿豆線(修善寺駅構内看板)	1基 12ヵ月
		伊東マリンタウン(観光案内看板)	1基 12ヵ月
		伊豆ぐらんぱる公園旅の駅(観光案内看板)	1基 12ヵ月
	インターネット	伊豆市ホームページ	12ヵ月
		伊豆の国市ホームページ	12ヵ月
		TNCクーポンズ	12ヵ月
		いこーよ(子供とおでかけ情報サイト)	12ヵ月
		ロケナビ!(ロケ地検索サイト)	12ヵ月
		LINE@(イベント情報配信サイト)	12ヵ月
		静岡バナージャック広告(静岡県東部地域、バナー掲載)	1期 1回
		yahoo! YDN&インフィード広告(パソコン・スマートフォン広告掲載)	1期 1回
		アットメール(携帯ホームページ付メール配信システム)	11ヵ月
その他		ハッピークーポンほか	2件 7回
	大会協賛広告(サイクルフェスティバル伊豆2017 ほか)	5回	
パ ブ リ シ ン テ イ	テレビ	NHKBS-1、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ	3局 6回
	新聞	中日新聞、静岡新聞、伊豆日日新聞	3紙 6回
	テレビ	静岡県内全局、NHK BS-1、BSフジ、BS朝日	8局 21回
	新聞	静岡、伊豆日日	2紙 21回
	雑誌	情報誌「こどもとおでかけ365日(首都圏版)」ほか	11誌 12回
	インターネット	Dokka! おでかけ探検隊、子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」ほか	16件 25回

(別表7) 販売促進活動内容一覧

(単位:人)

区 分	営業予約実績		来 場 実 績			
	件 数	人 数	一般入場	サイテル宿泊		
				スポーツ合宿	営業外	計
4 月	4	818	456	268	1,028	1,296
5 月	7	769	888	505	511	1,016
6 月	7	1,027	225	51	846	897
7 月	9	1,375	1,699	1,251	810	2,061
8 月	5	664	1,797	2,321	522	2,843
9 月	4	496	179	448	392	840
10 月	4	645	242	16	753	769
11 月	6	553	299	0	1,324	1,324
12 月	4	593	334	309	800	1,109
1 月	5	377	369	0	389	389
2 月	3	520	104	209	83	292
3 月	5	580	1,456	857	520	1,377
合 計	63	8,417	8,048	6,235	7,978	14,213
前年度	59	9,235	11,830	6,037	8,072	14,109
増 減	4	△818	△3,782	198	△94	104

(別表8) 諸会議開催内容一覧

会議名	開 催 内 容
理事 会	<p>第19回理事会（平成29年6月6日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成29年度収支予算の補正について</p> <p>（議案第2号）平成28年度事業報告について</p> <p>（議案第3号）平成28年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書並びに財産目録について</p> <p>（議案第4号）平成28年度公益目的支出計画実施報告について</p> <p>（議案第5号）第14回評議員会の招集について</p> <p>（議案第6号）顧問及び参与の委嘱について</p> <p>（報告事項1）2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る関係者の協議状況について</p> <p>（報告事項2）平成29年度有料入場者の推移について</p> <p>（職務執行報告）</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技会場指名後の関係機関との折衝状況について</p> <p>今後の業務の執行体制について</p> <p>今期のGWの入場者の状況について</p>
	<p>第20回理事会（平成29年8月1日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）屋外250メートルピストの無償譲渡並びに当該施設敷地の返却について</p> <p>（報告事項1）2020年東京オリンピック・パラリンピックに関わる準備の進捗状況について</p> <p>（報告事項2）平成29年度有料入場者の推移について</p> <p>（職務執行報告）</p> <p>今期の有料入場者の推移について</p>
	<p>第21回理事会（平成30年3月13日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成30年度事業計画について</p> <p>（議案第2号）平成30年度収支予算について</p> <p>（議案第3号）第15回評議員会の招集について</p> <p>（職務執行報告）</p> <p>オリンピック・パラリンピック競技会場整備に係る諸課題と対応方針について</p> <p>今期の入場者の動向と年度末の見通しについて</p>
評 議 員 会	<p>第14回評議員会（平成29年6月28日開催、東京）</p> <p>（議案第1号）平成28年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書並びに財産目録について</p> <p>（報告事項1）平成28年度事業報告について</p> <p>（報告事項2）平成28年度公益目的支出計画実施報告について</p> <p>（報告事項3）平成29年度収支予算の補正について</p> <p>（報告事項4）2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る関係者の協議状況について</p> <p>（報告事項5）平成29年度有料入場者の推移について</p> <p>（報告事項6）顧問及び参与の委嘱について</p>

会議名	開 催 内 容
評議員会	第15回評議員会（平成30年3月29日開催、静岡） （報告事項1）平成30年度事業計画について （報告事項2）平成30年度収支予算について
常勤役員会	第1回常勤役員会（平成29年5月23日） （議案第1号）平成28年度事業報告について （議案第2号）平成28年度決算報告について
	第2回常勤役員会（平成29年6月19日） （議案第1号）夏季夜間特別営業について （議案第2号）愛犬連れ入場について
	第3回常勤役員会（平成29年9月11日） （議案第1号）平成30年度競輪補助事業の要望について
	第4回常勤役員会（平成30年1月30日） （議案第1号）平成30年度営業計画について
	第5回常勤役員会（平成30年2月21日） （議案第1号）平成30年度勤務計画について
	第6回常勤役員会（平成30年3月9日） （議案第1号）平成30年度事業計画について （議案第2号）平成30年度収支予算について
その他	役職員懇談会 （ 6回開催：平成29年4月～平成29年12月）
	管理職会議 （ 4回開催：平成29年4月～平成29年7月）
	営業施設の安全対策委員会 （11回開催：平成29年4月～平成30年3月）
	防火管理委員会 （ 4回開催：平成29年6月、8月、12月、平成30年1月）
	労務運営委員会 （ 3回開催：平成29年9月、平成30年2月、3月）
	公益財団法人JKA伊豆事業所との定例連絡会 （11回開催：平成29年4月～平成30年3月）

(別表9) 職員研修内容一覧

研 修 名		回 数	参 加 者
研 資 質 向 上	全体研修(1月) (第1部)普通救命講習会 (第2部)講話「オリンピックを契機にCSCが発展するためには」 講師:静岡県文化・観光部 スポーツ局参事 加藤博昭氏	1回	職員(33名) 役職員(36名)
	中級障がい者スポーツ指導員養成講習会(12月)	1回	競技振興係担当者(1名)
資 格 取 得	日本サッカー協会フットサル4級審判員資格更新講習(2月)	1回	渉外係長(1名)、競技振興係担当者(1名)
一 般 研 修 会 ・ 講 習 会	遊戯施設の運行管理者・運転者等講習会(4月)	1回	普及事業課長(1名)
	プール施設管理士講習会(5月)	1回	普及事業課担当者(1名)
	プール衛生管理者講習会(6月)	1回	普及事業課担当者(1名)
	日本体育協会公認上級コーチ更新必須講座(2月)	1回	競技振興課長(1名)
	安全運転管理者法定講習会(8月)	1回	総務部長(1名)
	女性ジュニアアスリート指導者講習会(応用編)(12月)	1回	競技振興係担当者(1名)
	テーマパークEXPO2017(12月)	1回	普及事業部次長、普及事業係長(計2名)
	高地トレーニングNTC活用推進セミナー～飛騨御嶽～(6月)	1回	競技振興課長(1名)
	平成29年度競技別NTC合同ミーティング(5月)	1回	競技振興課長(1名)
	ナショナルトレーニングセンターセミナー兼第2回競技別NTC合同ミーティング(11月)	1回	競技振興課長(1名)
派 講 遣 師	伊豆市市民健康講座 「若返り運動教室～ちょっとのコツで体が変わる～」(2月)	1回	競技振興係担当者(1名)
各 種 訓 練	地震総合訓練(6月、12月)	2回	職員・保守管理業者(6月37名、12月38名)
	消防総合訓練(9月、1月)	2回	職員・保守管理業者(9月39名、1月34名)
	利用者救助訓練		
	流水プール(7月)	1回	普及事業課(11名)
	サイクルコースター(7月)	1回	普及事業課(6名)
	サイクルUFO・サイクルモノレール(2月)	1回	普及事業課(7名)